



亀中だより

No.34 令和4年12月9日 文責:岡田



For The Students!



なんのマークか知っていますか？

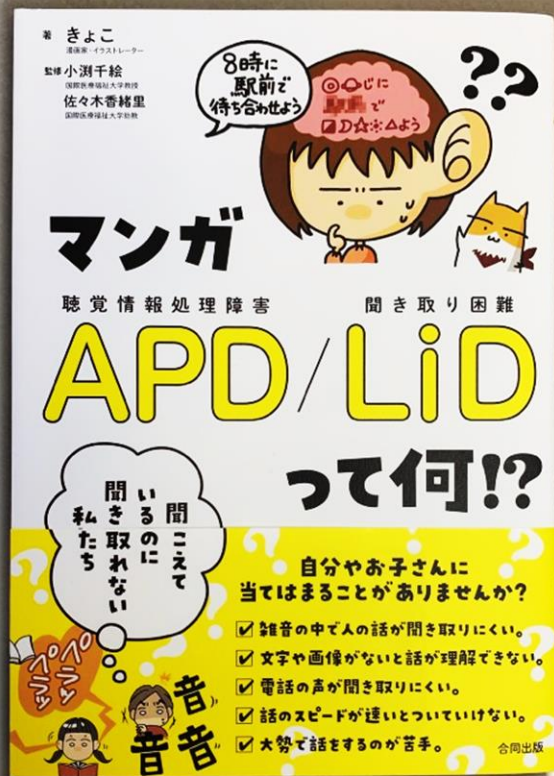
みなさんは左のマークが何を意味しているか知っていますか。これは「耳マーク」(Ear symbol)といって、聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。

聴覚障害は、障害そのものが分かりにくいために誤解をされたり、不利益なことになったり、危険にさらされたりするなど、社会生活の上で不安が数知れなくあります。「聞こえない」ことが分かれば、中学生のみなさんなら、いろいろな対応、お手伝いが可能となりますよね。そのためのマークです。

寄贈していただきました！

先日、3年4組小林成流さん、1年1組小林亜緒さんのお父さんから、右写真の書籍を亀山中学校に寄贈していただきました。APDは「聴覚情報処理障害」、LiDは「聞き取り困難」を意味しており、「通常の聴力検査で異常がないにもかかわらず、日常生活の中、雑音等で聞き取りにくさを感じる症状」と定義される聴覚障害です。この本は、APD/LiDがどのような出来事、場面を苦手としているのかをわかりやすく、マンガで紹介してくれています。著者のきよこさん(漫画家・イラストレーター)は、三重県在住で活動されており、ご自身の経験もまじえながら、小学生くらいの子どもでも読みやすいように工夫してこの本を制作されました。また、この本の出版にあたっては、クラウドファンディングによって資金を集めており、小林さんをはじめたくさんの方が協力をされているそうです。

いただいた書籍は図書館におかせていただきます。生徒のみなさんも、ぜひご覧ください。またこのことから学ぶことを日常に生かせるようになっていきたいですね。*次ページには耳マーク以外のシンボルマークも記載しておきます。おぼえておくといいですね。



ハンドボール県選抜選手 JOC 全国大会へ

3年生倉田遥斗さん、西川虎太郎さんが、ハンドボールの三重県選抜チームに選ばれ、先日行われた東海地区の予選を勝ち抜き、ジュニアオリンピックカップ全国大会へ出場されます。大会は12月24日から徳島県で行われます。全国の舞台でのさらなる活躍が楽しみです。がんばってください！

日本拳法中部大会 中学1年男子準優勝！

1年生倉田輝さんが、11月13日に名古屋市で開催された第36回日本拳法中部総合大会において、準優勝しました。おめでとうございます！

～障害者のシンボルマークについて～

街中で見かけたことはありませんか。それぞれのマークが意味することを理解するとともに、その時必要な行動ができるといいですね。(こころのバリアフリーガイドブックより:国土交通省関東運輸局発行)

障害者のための国際シンボルマーク



障害のある人（車いすに限らず）が利用しやすいようにできている建物や施設を示す、世界共通のシンボルマーク。

ほじょ犬（身体障害者補助犬）マーク



ほじょ犬とは、「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」のことをいいます。公共施設や交通機関はもちろん、デパートやスーパー、レストランなどにも同伴できます。

盲人のための国際シンボルマーク



視覚障害者（目の不自由な人）を示す世界共通のシンボルマーク。信号機などに使われています。

オストメイトマーク



オストメイト（人工肛門・人工膀胱をつけた人）のシンボルマーク。オストメイト対応トイレなどに使われています。

聴覚障害者シンボルマーク



聴覚障害者を示す世界共通のシンボルマーク。耳の不自由な人が通訳などのサービスを受けられる場所で使われています。



こちらは国内で使われているマーク（耳マーク）。自分が耳が不自由であることを示し、配慮を求めるときなどに使われます。

ハートプラスマーク



からだの内部に障害のある人（内部障害者）をあらわします。外見からわかりにくいいため、このマークによって内部障害に対する理解と配慮を求めています。

自動車の運転者が表示する標識



身体障害者標識



聴覚障害者標識



高齢運転者標識

障害のある人や高齢者が車を運転するとき、車に表示するマーク。

マタニティマーク



妊産婦（妊娠初期～出産後の女性）が公共交通機関などを利用するとき身につけます。妊娠初期など外見からわかりにくい人にもまわりの人が配慮できるような、やさしい環境づくりを進めています。